

男子袖ヶ浦東好実籾が優勝

ミニバススポーツ少年団大会

習志野市スポーツ少年団の第31回「ミニバスケットボールフェスティバル」が5月11日から19日まで、袖ヶ浦体育館ほかで開催された。主催・習志野市教育委員会は、習志野市スポーツ少年団、習志野市バスケットボール協会U12部会加盟のスポーツ少年団チームが参加。予選リーグ、トーナメント戦、交流リーグ戦、U-9交流リーグ戦などが行われた。決勝トーナメントの結果、男子は袖ヶ浦東ミニバスケットボールクラブ、女子は実籾



女子優勝の実籾レイカーススポーツ少年団



男子優勝の袖ヶ浦東ミニバスケットボールクラブスポーツ少年団



女子準優勝の実花MBCスポーツ少年団



男子準優勝の谷津MBCスポーツ少年団

レイカーススポーツ少年団が優勝を飾った。この大会での袖ヶ浦東の優勝は2019年以来。男子は8チームが2グループで予選リーグを行い、グループ上位3チームによる決勝トーナメントで優勝が競われた。決勝戦は順当に勝ち上がった袖ヶ浦東ミニバスケットボールクラブと接戦の準決勝を制した谷津MBCとの対戦となった。試合は序盤から競り合いが続く。前半は谷津の2点リードで終える。3Q、谷津は池田が活躍、袖ヶ浦東は田口、ミンが得点を重ね、互角の戦い。最終Q、谷津もがんばりを見せるが及ばなかった。

男子優勝の袖ヶ浦東ミニバスケットボールクラブの田口万次郎キャプテンは「3月の新人戦に続き今回の大会でも優勝できてうれしいです。他のチームも練習を重ねレベルアップする中で、再び自分たちが優勝するために、粘り強いディフェンスからチャンスを作り得点につなげるバスケをやり切りました。また次の大会でも優勝できるように、チームとしての一体感を大切に練習をがんばりたいです」と話した。

女子は11チームが3グループにわかれての予選リーグと、予選1位と2位チームによる決勝トーナメントで優勝が争われた。決勝戦は実花MBCと実籾レイカースが対戦した。実花は國井、久保、白鳥らが得点を挙げ、前半は実花のリードで終了。後半に入り、実籾は佐々木、大森、石山、飯塚らの活躍で逆転。接戦は続

き、終盤、実花が2点差を追う展開となるが、実籾が勝利した。女子優勝の実籾レイカースの佐々木七星チームキャプテンは「いままでお世話になったコーチに、やっとなんか返しができました。みんなでつかった優勝、本当にうれしいです」、大森結菜ゲームキャプテンは「ラスト18秒、外のシュートが決まり、チームを勝たせることができてとてもうれしかったです。応援と仲間の声掛けを力に、最後までチームで戦い抜くことができました」と語った。大会結果は次の通り。

男子の部
 ▼予選Aリーグ
 ①袖ヶ浦東ミニバスケットボールクラブ②谷津MBC③屋敷オールスターズ④大久保

久保キャバリアーズ
 ▼予選Bリーグ
 ①秋津ミニバスケットボールクラブ②実籾レイカース③鷺沼クラブ④FTファイブ

1部 三中が連覇果たす
 中学ソフトボール 矢坂・内外杯



1部優勝の三中

2部優勝の七中
 参加。4コートにわかれての予選トーナメントが行われ、コート1位同士による1部トーナメントと、2位同士による2部トーナメントで優勝が争われた。



2部優勝の七中

1部の決勝戦は習志野三中と萱田中(八千代市)との対戦となった。初回はともに1点。2回表、三中は7得点で大きくリード。三中投手・三橋は2回以降、

▼3位決定戦

秋津	39	12	12	9	6
実籾	38	11	15	4	
鷺沼	37	8			
FT	4				

▼準決勝戦

実籾	60	49	15	17
鷺沼	62	37	8	8
FT	4		11	4

▼決勝戦

実籾	69	17
向山	28	10

▼予選Cリーグ

実花	47	11	16
大久保	65	14	11
屋敷	18	5	2

▼予選Dリーグ

大久保	35	14	7	4	10
屋敷	31	6	9		

▼3位決定戦

実籾	36	10	11	6	9
実花	34	4	15	5	

▼決勝戦

実籾	69	17
向山	28	10